



消防千葉

2019 No.573 令和元年11・12月号

令和元年12月1日 編集兼発行人

千葉県市原市菊間783-1 千葉県消防学校内

公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅

TEL0436(37)1710

郵便番号 290-0007

ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>

メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



犬吠埼灯台（銚子市）海匠支部

巻 頭 言

「安心して暮らせるまちを目指して」

我孫子市消防長 深山 和義



我孫子市は、千葉県の北西部に位置し、東に印西市、南と西は手賀沼を隔て柏市があり、北は利根川を挟んで、茨城県と隣接しています。

手賀沼と利根川に挟まれた細長い馬の背状の土地が特徴であり、南北延長は最長約4キロメートル、東西延長は約14キロメートル、面積は約43.15平方キロメートルとなっています。

大正から昭和初期にかけては、手賀沼の景観に魅かれた「白樺派」をはじめとする文化人が多く移り住みました。昭和30年に2町1村が合併して我孫子町、昭和45年7月に我孫子市となり、令和2年7月1日に、市政施行50周年を迎えます。

さて、当市消防本部は、1本部・2署・2分署に職員156名、消防車両等18台、救急車両5台の体制で消防活動にあたっています。

これまで実施している車両、装備の能力向上と増強の施策を継続するとともに、近年、当市消防本部でも団塊世代の大量退職により職員の世代交代が行われ、災害現場経験の少ない若い職員への知識・技術の伝承が喫緊の課題であり組織をあげて取り組んでいるところであります。限られた人員で高い消防力を確保するためには、教育・訓練の充実が最優先であることから、我孫子市初となる消防総合訓練施設の整備に向けて現在事業を進めています。

また、地域防災にとって消防団が唯一無二の存在であるとの共通理解が深まるようにPR活動を充実させ、誇りとやりがいを持って消防団活動ができる取り組みを進めるとともに、消防団車両の更新や資機材の整備、消防団器具置場を順次建替えるなど魅力ある消防団づくりを進めています。

さらに、火災による死傷者ゼロを目指し、住宅用火災警報器の設置と適正な維持管理の促進に努め、人命危険や火災の危険が高い建物の立入検査を重点的に実施するとともに、職員一同が自己研鑽することにより知識の向上を図り、消防法令違反に対する徹底した是正指導に取り組んでいます。

今後も市民が安心して暮らせるまちを目指して、職員一丸となって消防力の充実に取り組んでまいります。

結びに、台風15号・19号からの一刻も早い復興を心よりお祈り申しあげまして巻頭の挨拶とさせていただきます。

第24回 全国女性消防操法大会の開催

令和元年11月13日（水）、第24回全国女性消防操法大会が消防庁と公益財団法人日本消防協会の主催により横浜赤レンガ倉庫イベント広場にて開催されました。

当日は、晴天の中、全国各都道府県の代表として選ばれた女性消防隊47チームにより軽可搬ポンプ操法の技術が競い合われました。

9時から選手団が入場し、開会宣言の後、国旗掲揚、優勝旗の返還の後、林崎消防庁長官及び秋本日本消防協会長から「近年、全国各地で思いがけない、様々な災害が発生し、また住宅等の火災も相次いでいます。そのようななか、どんなことがあっても生命を守り抜く消防防災体制づくりをめざさなければなりません。地域の総力を結集する地域防災力の強化が重要で、常備消防と連携した消防団の役割は益々重要になっています。全国大会をめざしながら訓練を重ねた消防操法は、消防団の気力、体力、技術力のもとより、団結力を高めることにつながります。皆さんの一生懸命の消防操法は、一般の方々のお気持ちにも通じ、消防団の存在感を一段と高めて頂くことになると思います。」旨の挨拶がありました。



浦安市女性消防隊の操法演技

その後、全国消防長会会長等からの祝辞、八代市本部女性消防隊の選手宣誓がありました。9時50分から1コース（本部席側）と2コース（スタンド席側）に分かれて操法競技が開始されました。

千葉県からは、浦安市女性消防隊が第1コースの6番目で出場しました。

浦安市女性消防隊は、平成15年11月に発足し、現在分団長以下30名で組織しています。応急手当講習会での実技指導、火災予防啓発・広報活動を中心に地域防災の充実強化に積極的に取り組んでいます。

スタンド及び一般席には、浦安市長や千葉県消防協会長、千葉県防災危機管理部消防課長、千葉県消防学校長並びに東葛飾支部、香取支部、市川市、船橋市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、佐倉市、四街道市、館山市など大勢の応援団が来場して、演技を見守っていました。

操法終了後、14時30分から優勝1、準優勝2、優秀賞3、優良賞6チーム、優秀選手10名の審査結果（別表参照）が審査長から発表されました。

浦安市女性消防隊は、第12位の成績で、優良賞を受賞しました。



浦安市女性消防隊メンバー表

	氏 名
隊 長	五月女 香代子
指揮者	榎本 香奈
1 番員	澤田 佳乃子
2 番員	西 未雲
3 番員	堀内 かおり
4 番員	上野 恵理子
補助員	松崎 映里



第24回 全国女性消防操法大会成績表

成 績	都道府県	消 防 隊 名
優 勝	熊本県	八代市本部女性消防隊
準優勝	佐賀県	唐津市女性消防隊
	山口県	和木町女性消防隊
優秀賞	三重県	伊賀市女性消防隊
	埼玉県	三郷市女性消防隊
	兵庫県	芦屋市女性消防隊
優良賞	石川県	加賀市女性消防隊
	愛知県	瀬戸市女性消防隊
	岐阜県	山県市女性消防隊
	岩手県	北上市女性消防隊
	香川県	三豊市女性消防隊
	千葉県	浦安市女性消防隊

女性消防操法大会優秀選手

	女性消防隊市町村名	選手名
指揮者	福島県桑折町	野田 ひとみ
	福岡県久留米市	原口 麻鈴
1 番員	東京都高輪	服部 恵子
	熊本県八代市	野村 絵美
2 番員	三重県伊賀市	木下 つかさ
	熊本県八代市	野田 貴美子
3 番員	兵庫県芦屋市	和田 友見子
	福岡県久留米市	国武 ひかり
4 番員	兵庫県芦屋市	信岡 史恵
	山口県和木町	松長 美保

第40回九都県市合同防災訓練(千葉県会場)

主会場「船橋市高瀬町運動広場」

副会場「京葉食品コンビナート協議会南岸壁」で実施!

大規模な地震災害を想定し、県や市、各防災機関が連携した救出救助訓練、更には、自助・共助・公助の相互の繋がりを強化し、地域防災力の向上を目的とした災害への備えや発災時の心得などを啓発する防災フェアを、9月1日(日)「防災の日」に船橋市において開催しました。

訓練概要

1 実施日時・場所

令和元年9月1日(日)

主会場：船橋市高瀬町運動広場
(船橋市高瀬町56番地) 他

副会場：京葉食品コンビナート協議会南岸壁
(船橋市高瀬町2番地先)



森田知事講評

2 主 催

千葉県、船橋市、公益財団法人千葉県消防協会

3 訓練規模(全日程) 参加機関：約170機関

総参加人数 約8,000人

(訓練参加人数：約2,000人、参観人数：約6,000人)



阿井県議会議長挨拶

4 今回の訓練の特徴

首都直下型や千葉県北西部など都市圏での地震発生の恐れが高まっていることや、大阪北部地震などで都市部の脆さも露呈されたことなどから、「都市型災害への対応」や「熊本地震などの大災害の課題」を意識した訓練をし、地域住民を始めとする県民の防災意識の向上を図りました。

「都市型災害への対応」

- ・住宅密集地における被害からの救出救助
- ・他地域からの応援(近隣消防の増援や他都県市からの物資輸送など)
- ・ボランティア受け入れ体制の確認

「熊本地震などの大災害の課題」

- ・国が被災地からの要請を待たずに物資を緊急輸送する「プッシュ型支援」への対応

<主な訓練項目>

- (1) 情報伝達・身体防護訓練
- (2) 実動訓練
- (3) 避難所運営訓練
- (4) ボランティアセンター運営訓練
- (5) 物資輸送訓練
- (6) 多数遺体取扱訓練
- (7) 防災フェア



安倍首相挨拶

5 訓練の状況



主会場：合同調整所設置訓練



主会場：ライフライン復旧訓練



主会場：消防団による延焼防止一斉放水



主会場：緊急消防援助隊



主会場：消防、警察による合同救助活動



主会場：消防、警察による合同救助活動



主会場：日本赤十字社千葉県支部医療救護訓練



主会場：千葉市消防局ヘリ「おとり」



主会場：消防救助活動



主会場：消防救助活動



主会場：倒壊信号機撤去訓練



主会場：道路啓開訓練



主会場：船橋市赤十字奉仕団の応急給食訓練



主会場：防災フェア（ロープ渡過体験）



副会場：洋上捜索・救助・船舶火災対応訓練



副会場：自衛艦からの給水訓練

消防・防災活動に関する出前講座の開催

消防団活動への参画や消防・防災活動についての理解を図ることを目的として、千葉県消防課の主催により、令和元年10月28日(月) 県立市原八幡高校において、出前講座が開催されました。

講座は6、7時限目で行われ、体育館と柔・剣道場の2グループに分かれ、柔・剣道場では、AED使用した心肺蘇生法の実習がされたほか、体育館では、消防団PRムービーによる消防団の概要説明とパネルシアターや寸劇による消防団業務の紹介が行われました。

今回の講座で、実習では帝京平成大学の学生消防隊、救急救命士コースの学生さんに、消防団業務の紹介については、市原市消防団のみなさんに活躍していただきました。



消防団の概要説明



消防団 PR ムービー



市原市消防団の寸劇



市原市消防団のパネルシアター



心肺蘇生法実習



心肺蘇生法実習

わが町の消防団 ① 白井市消防団

白井市は千葉県の北西部に位置し、都心から30キロメートルの距離にあります。千葉ニュータウン地区への入居により人口が増加し、平成13年4月に市政施行しました。市を横断するかたちで北総鉄道および国道464号線が通り、ほぼ南北を縦断するかたちで国道16号が走っています。

北部には豊かな自然も多く残り、都市と自然のバランスがとれた都市として現在も発展を続けています。また、特産品の梨は全国でも有数の産地として知られており、生産量・栽培面積は千葉県内で1位となっています。

白井市消防団は、消防団本部を中心に3分団21部で組織され、消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ付積載車20台を配備し白井市民約6万3千人有余の地域防災の要として活動を続けています。

平成30年度中の出動件数は火災・災害出動が19件、延人員130人の団員が出動しました。



いつ発生するかわからない災害に備え、団では定期訓練を実施し迅速、的確、安全を目標に取り組んでいます。年間の主な行事は、新入団員への規律・基礎訓練、火災現場を想定した現場指揮本部の設置・指揮・情報伝達及び中継放水訓練などを行う夏期・冬期訓練をはじめ、隔年で行われる市消防操法大会を開催。災害の第一線で必要な判断力と迅速的確な行動、そして機械器具の取り扱いなど、消防技術の向上と消防団員の士

気高揚を図るため、各部の団員が地元代表として、生業を持ちながらも夜間や休日を使い、白井市を火災や災害から守るために、訓練に励んでいます。

予防活動として秋季火災予防運動に伴う、火災予防パレードの実施や年末年始特別警戒を行い、市民への防火意識の普及啓発を図っています。あわせて、消防団各部においても、消防資機材の点検及び管轄地区において防火広報、夜間警らを実施しています。

年が明け、1月には消防出初め式が実施され1年間の消防団の団結を誓い、消防精神の高揚を図っています。

しかし、消防団員を取り巻く情勢は、団員のサラリー

マン化や高齢化、団員の減少など大変厳しいものとなっています。そのような中、東日本大震災以降は、市民の防災への関心が高まっており、消防団の活動が益々期待されています。近年、発



生した台風による大規模な風水害や発生が予測される震災害に対して消防団員は、常に、これらの自然災害や、火災から市民の生命、身体、財産を守るという重要な役割を担っています。これからも白井市消防団は防災リーダーとして地域と密着した消防防災体制の構築を進め、団員一丸となって市民が安心・安全に暮らせるまちづくりを進めていきます。



わが町の消防団 ② 横芝光町消防団

横芝光町は千葉県北東部に位置し、東西約5km、南北約14kmと南北に細長く、面積は66.9km²で、白砂青松の続く九十九里浜が広がる太平洋に面し、町中央部にはかつての上総国と下総国の境界であった九十九里平野における最大河川「栗山川」が流れ、海・山・川と豊かな自然に囲まれた町であります。

須合一嘉団長を筆頭に、定数520人の消防団員、1本部、8分団、26部で組織し、団本部水槽車1台、団本部指揮者1台、団本部資機材運搬車1台、ポンプ自動車9台、小型動力ポンプ付積載車17台（うち水槽付3台）を配備し、約2万4千人の町民の生命・財産を守るために日夜活動しています。

年間を通じて、主な消防団活動各種活動を紹介しますと、4月に消防団幹部を対象とした教養訓練、各部団員を対象に自動体外式除細動器（AED）を用いた普通救命講習会を開催し、消防団員としての資質向上を図っています。5月には消防技術・知識の更なる向上を目的に消防ポンプ操法大会を開催しています。

この大会で優勝した分団は山武消防ポンプ操法大会に出場し、小型ポンプ操法の部で最優秀賞を受賞し、第55回千葉県消防ポンプ操法大会に出場し、山武郡市の代表として見事優秀賞を受賞しました。

また、地震や風水害等の大規模災害発生時には消防団の活動が非常に重要であることから毎年9月に町全域を対象として開催される防災訓練には消防団として参加し、避難誘導訓練及び情報伝達訓練や初期消火訓練を実施し、町及び防災関係機関・町民と一体となって防災意識の高揚に努めています。

秋季の全国火災予防運動週間には、火災予防の一環として、町内一円を巡回する「防火パレード」を実施し、積極的に防火啓発の普及に努めています。11月には各団員の実践的な消火活動の技術・知識の習得、迅速確実、且つ実践的な能率を目的とした、中継放水訓練を匝瑳市横芝光町消防組合消防本部の指導を頂き火災防御に万全を期す訓練を実施しております。

近年、全国的に消防団員の減少が問題となっておりますが、当消防団においても重要な課題となっていることから、消防団の必要性を幅広く啓発していくことで、消防団員がスムーズに確保できるように努め、更には消防団OBや消防協力者で構成する機能別分団の制度を検討していきたいと考えております。

今後も「安心・安全に生活できる町」、「地域に根ざした消防団」を目指し、町民の期待に応えられるよう精進して参りたいと思います。



東 西 南 北

東 西 南 北 火災原因調査研修を実施 松戸市消防局第三方面本部

松戸市消防局第三方面本部では、令和元年8月30日(金)、松戸市消防訓練センターにおいて、火災原因調査研修を実施しました。

研修には、第三方面本部を構成する消防署から火災原因調査を担当する21名の職員が参加し、たばこ、グラインダーの火花等の微小火源が床や布団等にどのような経過をたどり着火して行くかの過程を目視により確認出来る内容としました。

今後も小さな火種を見逃すことなく職員一丸となって調査、研究に励み、火災原因調査技術の向上を目指します。



東 西 南 北 親子消防体験を実施 流山市消防本部東消防署

令和元年9月23日(月)、千葉県流山市消防本部東消防署で親子消防体験を開催しました。大人、子供合わせて131人が参加し、各消防体験を行いました。

また、当日は流山市消防本部のマスコット、おおたか君と、流山市消防本部の応援ソングを作成してもらった「ソノライフ」さんにも参加してもらい、会場を盛り上げてくれました。

YouTubeにてPR動画配信中です。「流山消防本部」で検索!!



東 西 南 北 火災調査のスペシャリストを認定する「火災調査認定資格者制度」を開始 千葉市消防局

令和元年10月16日(水)、セーフティーちばにおいて、火災調査認定資格者に対する認定証交付式を実施しました。

当局では、本年10月1日から火災調査能力の強化を図る目的で、火災調査の知識・技術・経験を特に有する者を「火災調査認定資格者」として認定しました。

主に火災調査現場で、原因究明の中心的なポジションとなり、若手職員に対しては、火災発生原因を突き止めるポイントなど火災調査における知識・技術の伝承を行う、「火災調査業務のリーダー」としての役割を担います。

今回は、各消防署長が推薦する「火災調査アドバイザー」23名、その上位の資格であり、予防部長が指名する「火災調査インストラクター」6名を、消防局長が認定しました。

今後、火災調査認定資格者を中心に火災調査体制のさらなる強化を図り、市民の皆様の安心・安全につなげて参ります。



救急活動シミュレーション訓練の実施

八千代市消防本部

八千代市消防本部では、令和元年10月17日(木)、本市消防本部講堂において、救急隊員の現場対応力の向上を目的に「救急活動シミュレーション訓練」を実施しました。

この訓練は、指導救命士による救急隊員への教育の一環として企画され、各所属の救急隊(5隊)と見学者を合わせ71名が参加しました。

参加した救急隊は、意識障害や外傷等の想定付与に対する活動を披露した後、東京女子医科大学附属八千代医療センターの救急医からフィードバックを受け、スキルアップに繋げるとともに、会場の見学者にも共通認識を図ることができました。

訓練から得られた知識と技術を今後の救急活動に活かし、更なる救急隊の質の向上に努めていきます。



特殊災害対応訓練を実施

松戸市消防局

令和元年10月23日(水)に松戸市文化会館(森のホール21)において、松戸市文化振興財団、松戸警察署、松戸東警察署、松戸市立総合医療センター、同センター付属看護専門学校(傷病者役)、千葉西総合病院、松戸市役所及び松戸市消防局の計166名が集まり、大規模集客施設におけるNBC災害(化学剤テロ災害)により多数の負傷者が発生したとの想定により、特殊災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、負傷者の早期救出を主眼とし、被災者誘導にピクトグラムを活用、剤の検知と隊員防護体制、除染エリア及び応急救護所等の迅速な設営を目的としています。

実際の集客施設を使用することができ、より実践的に訓練実施することができました。



警防技術練成会を実施

市川市消防局

市川市消防局では令和元年10月23日(水)、24日(木)に現場対応能力の強化及び指揮命令系統の確認を目的とし「警防技術練成会」を実施いたしました。

この練成会では、各消防署管轄内で起こりうる災害を想定し、4署各大隊でそれぞれの想定に対し各部隊の円滑な連携の強化及び技術の向上を図ることができました。

今後も様々な災害に対応できるよう訓練を重ねていきます。



東西南北 多数傷病者を想定した大隊連携訓練を実施

船橋市北消防署

船橋市北消防署では、令和元年10月23日(水)及び24日(木)、船橋市消防訓練センターにおいて、2日間で延べ41隊が参加した大隊連携訓練を行いました。

「交差点内で乗用車2台とマイクロバスの交通事故が発生、傷病者が多数いる」という想定で、管轄外の他署隊も加わり、各隊が連携した活動訓練を行うことができました。

また、訓練終了後の検討会では、今後の活動に備え、反省点等を確認しました。

船橋市消防局では、これからも各種訓練を通じて、様々な災害に対応するための消防力の向上に努めて参ります。



東西南北 消防フェスタ開催

柏市消防局

柏市西部消防署では、旭町消防署と合同で、令和元年10月26日(土)、柏市消防訓練センターにおいて、市民参加型のイベント「2019 消防フェスタ」を開催しました。当日は、400人以上の皆様方のご来場があり、梯子車体験乗車やロープ渡り、放水体験やAEDの取り扱いなど、いろいろな体験をしていただきました。

また、ご来場者の半数以上が小学生以下のお子様であり、これからの地域防災の担い手に対して、消防への関心を高めていただくことができました。



東西南北 JR姉ヶ崎駅での合同訓練

市原市消防局

当消防局では、11月6日(水)JR内房線姉ヶ崎駅において、特急列車を使用した人身事故想定訓練と刃物を所持し暴れている男が複数の乗客を殺傷する多傷病想定訓練を実施しました。この訓練では、JR、警察、DMATとの連携を確認し、災害対応能力の向上を図りました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和元年 11月・12月

- 11月13日 第24回全国女性消防操法大会(横浜市)
- 16日～17日 消防団員指導員研修(消防学校)
- 27日 千葉県女性消防団員活性化シンポジウム(千葉市)
- 12月4日 関東甲信地区消防協会事務局長会議(埼玉県)
- 18日 千葉県消防協会臨時理事会(千葉市)



2019年度 全国統一防火標語
「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」

令和元年 冬の交通安全運動
12月10日(火)から12月19日(木)
スローガン ～夕暮れの 早めのライトで 防ぐ事故～

<表紙の説明>

犬吠埼灯台（銚子市）海匝支部

関東最東端の犬吠埼は、三方を海に囲まれ波によって削られた岬で、山頂・離島を除き日本で一番早く初日の出が見られるポイントです。

その岬に高くそそり立つ白亜の塔が、世界灯台100選、日本の灯台50選にも選ばれる銚子観光のシンボリック存在の「犬吠埼灯台」です。

初めて点灯したのは、明治7年11月15日とされていますので、今年で145歳になりとても歴史のある灯台です。

年間を通じて犬吠埼周辺には、海岸で雄大な大海原と荒磯に碎ける波や、白亜の灯台がおりなす美しい風景を見ようと多くの人が訪れます。

